

# みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市 ～2022年度の主な取組み～



2022年度上期  
市長と語ろう会



# 目 次

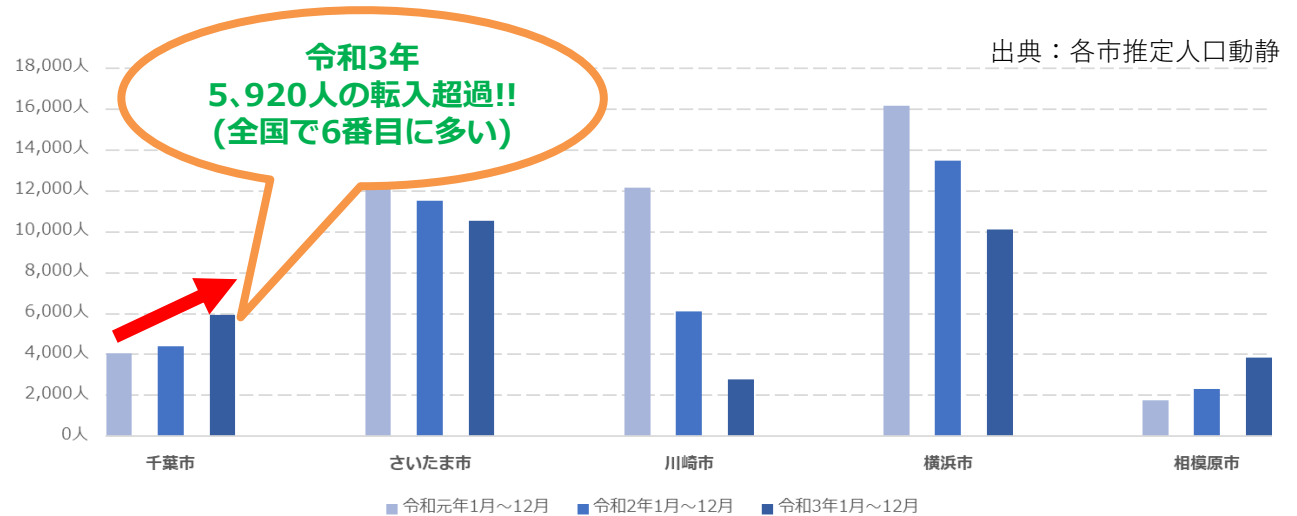
現在の千葉市を取り巻く状況	1
2040年を展望した社会変化	2
2022年度予算 主な取組み	3
・ 予算編成の基本的な考え方	4
・ 予算規模	5
・ 当初予算の主な施策	6
・ 主な財政指標	3 3
【お知らせ】	
政令指定都市移行30周年記念スペシャル対談	3 6

# 現在の千葉市を取り巻く状況（東京都との転出入）

テレワーク普及等により、東京から千葉市に移り住む人が増加！

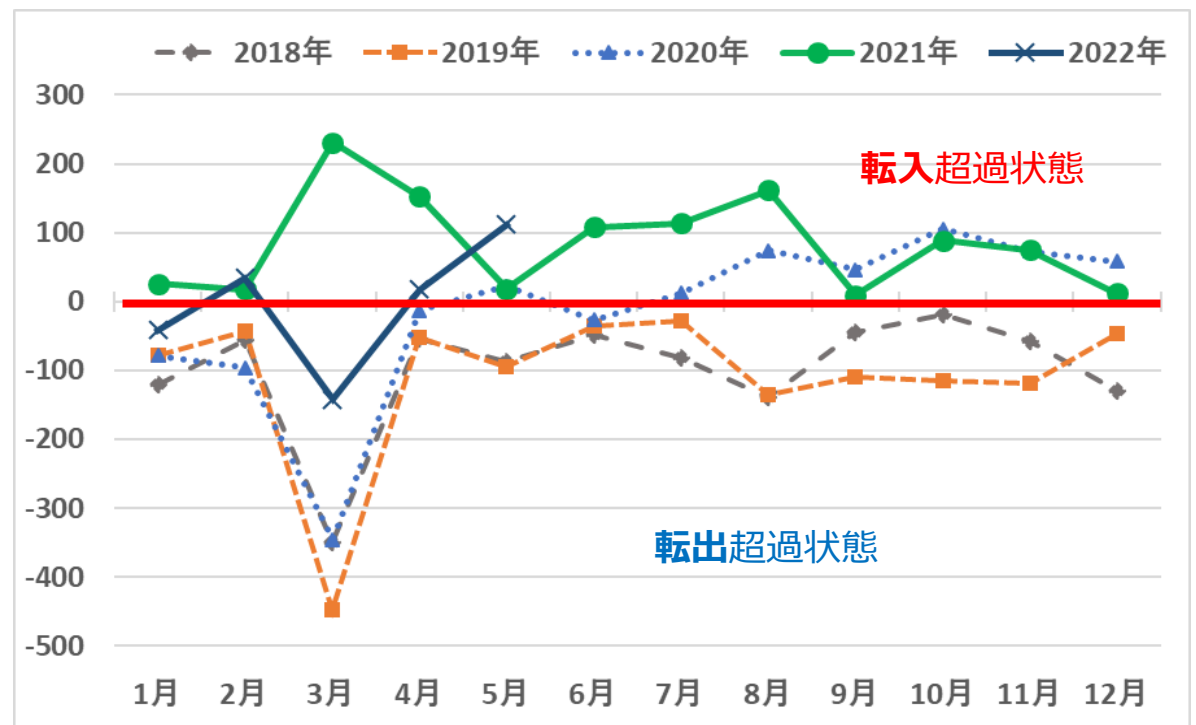
## ■首都圏5政令市 転入超過数の推移

- 横浜市、川崎市、さいたま市が転入者数減少の中、千葉は増加傾向！
- 令和3年市町村転入超過数 県内トップ！



## ■千葉市⇔東京都の 転入出者数推移

- これまで一貫して転出超過であった傾向に変化
- 東京都からは、1,061人の転入超過  
東京都への転出超過数は、大幅に減少！

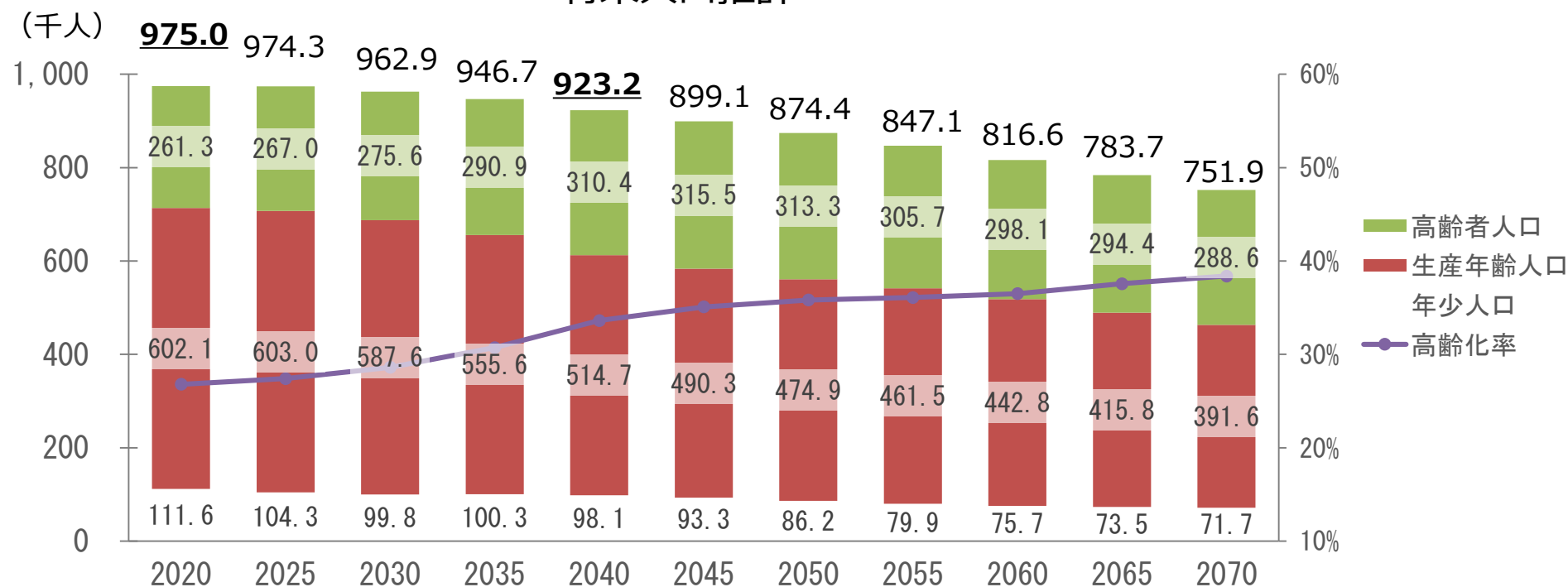


出典：千葉市

# 2040年を展望した社会変化

- 総人口は2020年代前半をピークに減少の見通し（2040年は2020年比▲51.8千人）
- 年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15-64歳）は継続的に減少。
- 高齢者人口（65歳以上）は継続的に増加し、2040年までに49.1千人増（ピーク：2045年）

将来人口推計



資料：千葉市作成

- ✓ 人口密度の維持、空き家・空地の有効活用、公共施設・インフラの適切な維持管理等
- ✓ 多様な人材が活躍できる環境づくり、テクノロジーの活用による生産性向上・働き方改革
- ✓ 年齢にかかわらず健康で活躍できる環境づくり
- ✓ 安心して出産・子育てできる環境の充実



# 2022年度予算 主な取組み



## 予算編成の基本的な考え方

感染対策と日常生活の両立を図り、地域経済の回復と活性化に向けた取組みを推進する

財政の健全性を維持・向上させる取組み及び行政改革の取組みを着実に推進する

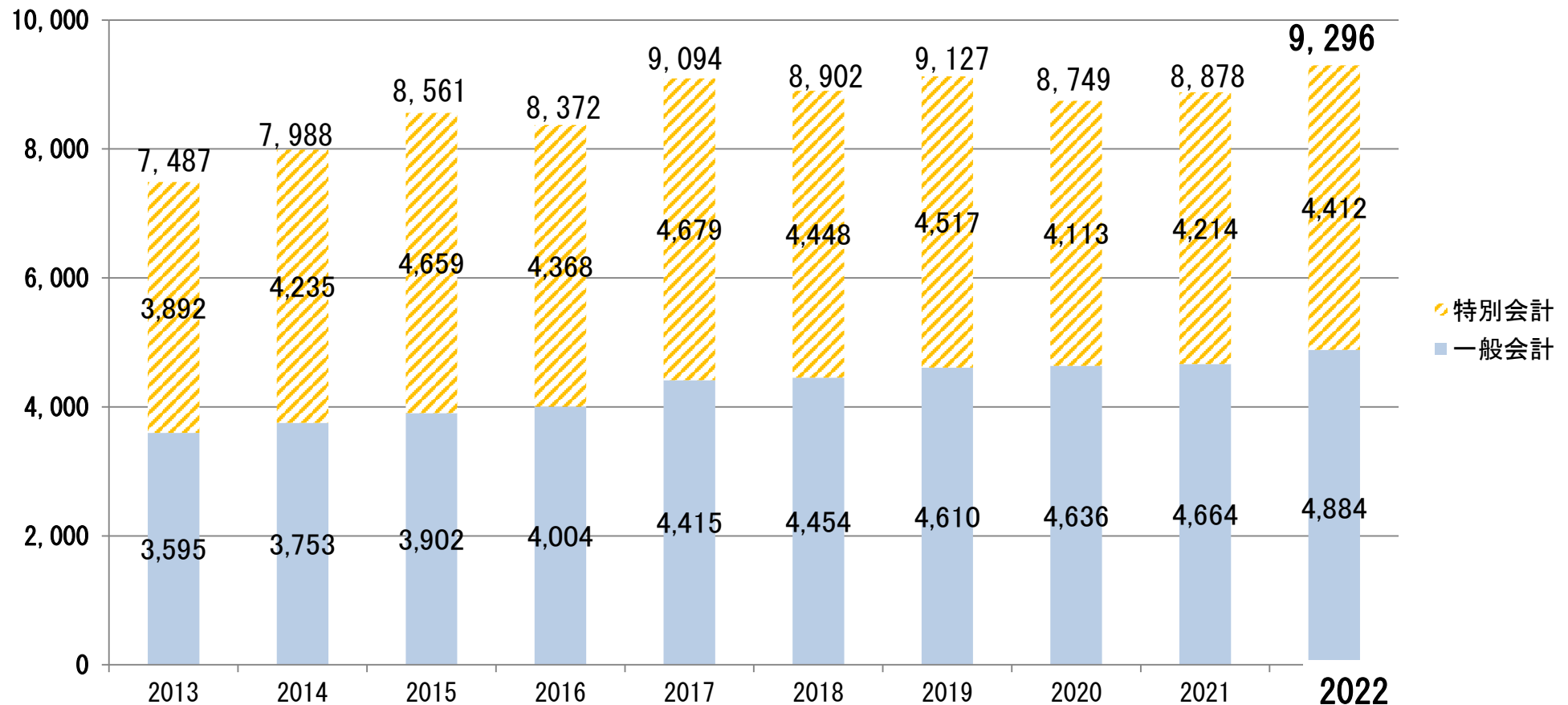
都市の利便性と自然の豊かさを感じられ、長く暮らし続けられるよう、市民生活の向上や本市の発展につながる事業の着実な推進を図る

# 予算規模

総額	9,295億5,300万円	(対前年度比 417億5,100万円増 4.7%増)
一般会計	4,884億円	(対前年度比 220億円増 4.7%増) (2021年度6月補正後予算比 141億200万円増 3.0%増)
特別会計	4,411億5,300万円	(対前年度比 197億5,100万円増 4.7%増)

単位：億円

当初予算規模の推移 (2013～2022年度)





# 当初予算の主な施策（全体像）

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策

感染者等への対応、感染拡大防止対策  
経済対策、市民生活の支援 など

## 2. 安全・安心

地域防災力の向上、消防力の充実・強化  
交通安全の推進 など

## 3. 環境・自然

地球温暖化対策、ごみの削減と適正処理  
緑と水辺の活用と充実 など

## 4. 健康・福祉

地域包括ケアシステムの構築・強化  
障害者支援、医療・健康支援 など

## 5. 子ども・教育

学びを支える教育環境の充実  
学校生活支援の充実 など

## 6. 地域社会、文化・スポーツ

多文化共生社会の実現  
文化・芸術活動の創出と支援 など

## 7. 都市・交通

千葉駅周辺の活性化推進  
広域道路ネットワークの形成 など

## 8. 地域経済・農業振興

地域経済の経営力の強化・新たな  
担い手創出、農業の担い手確保 など

# 当初予算の主な施策

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策①

### 感染者等への対応

- 軽症者等の宿泊療養施設の確保**(予算額 11億8,500万円)  
軽症患者・無症状感染者の療養施設(酸素ステーションを含む)を確保
- 軽症者等の自宅療養支援**(予算額 10億5,400万円)  
自宅療養を支援  
(パルスオキシメーターの貸出し・配食サービス、健康観察センター運営、医療提供支援等)
- PCR等検査体制の確保**(予算額 3億400万円)  
医療機関及び保健所・環境保健研究所での検査実施



### 感染拡大防止対策

- 【拡充】区役所窓口混雑状況配信システム改修**(予算額 700万円)  
区役所窓口の混雑緩和のため、混雑状況のインターネット配信等に加え、来所日時をオンライン予約できる機能を追加  
(運用開始時期 2022年12月～)
- 【新規】動物公園入園券オンライン決済等導入**(予算額 300万円)  
入園券購入時等の三密回避のため、オンライン決済システムを導入  
(対象:入園券、ベビーカー貸出)

# 当初予算の主な施策

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策②

### 経済対策

#### ○中小企業者事業継続支援金(予算額 2億円)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上減少が生じた中小企業者等の支援のため、事業継続支援金を支給

〔支給要件 2021年11月から2022年3月までの任意の月の売上が、2018年から2021年の同月比で20%以上30%未満減少していること 等〕

#### ○テレワークプラン販売促進(予算額 1億円)

コロナ禍での感染拡大防止や宿泊事業者支援のため、テレワークプラン利用者の利用料金に対し助成

〔上限額 3,000円/回(最低自己負担額 1,000円)  
実施期間 2022年4月～6月  
※ 2021年度事業を延長し、2022年度も切れ目なく実施〕



#### ○就職氷河期世代就労支援(予算額 1,800万円)

就職氷河期世代の雇用を促進するため、企業と求職者のミスマッチ解消に向けた取組みを実施(就業支援セミナー等の開催、職場体験の実施等)



# 当初予算の主な施策

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策③

### 市民生活の支援・地域コミュニティの回復

#### ○心のケア相談(予算額 4,400万円)

新型コロナウイルス感染症の影響による心のケアに関する相談に対応するため、夜間休日の電話・SNSによる相談体制を引き続き確保

#### ○【拡充】女性のためのつながりサポート(予算額 1,500万円)

コロナ下で困難・不安を抱える女性を支援するため、新たに相談会等を実施

#### ○【拡充】コミュニティソーシャルワーカーの配置強化(予算額 9,900万円)

様々な困りごとを抱える方やその家族を支援するとともに、地域が主体となり課題を解決する力を高めるため、千葉市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーを増員 (2021年度:10人→2022年度:12人(2人増))

#### ○【拡充】市民自治の推進(予算額 100万円)

住民同士の助け合いと支え合いによる地域運営を持続可能なものとするため、多様な主体の連携を促進する取組みなどを実施

〔 実施内容 若い世代を対象としたワークショップ(意見交換会)、  
町内自治会とNPOのマッチング 等 〕

# 当初予算の主な施策

## 2. 安全・安心①

### 地域防災力の向上

#### ○九都県市合同防災訓練(予算額 2億1,900万円)

本市を中央会場として、第43回九都県市合同防災訓練を実施  
(実施日:2022年9月1日、場所:千葉市蘇我スポーツ公園フクダ電子グラウンド 他)

#### ○【新規】屋根耐風診断・改修助成(予算額 1,700万円)

強風等による住宅屋根の被害を防止するため、耐風診断及び耐風改修助成制度を新たに創設

#### ○【拡充】耐震診断・改修助成(予算額 3,700万円)

住宅の耐震化を促進するため、助成制度を拡充

木造住宅耐震診断助成

補助率 2021年度:2/3→2022年度:4/5

上限額 2021年度:4万円→2022年度:9.6万円



#### ○【拡充】地域避難施設の運用体制整備(予算額 100万円)

避難所への集中を緩和するため、地域避難施設に認定した町内自治会集会所などに、新たに携帯トイレを整備 (配備数:1施設あたり100個程度)

# 当初予算の主な施策

## 2. 安全・安心②

### 地域防災力の向上

○【拡充】デジタルサイネージによる災害情報の配信（予算額 400万円）  
災害時に緊急情報を配信するほか、平常時には市政情報の配信を行うデジタルサイネージを全公民館に設置（設置箇所 2021年度:12か所→2022年度:47か所）

○【拡充】防災ラジオの更新（予算額 2,500万円）  
町内自治会等へ配付している防災ラジオについて、防災行政無線のデジタル化に伴い、コミュニティFM経由で緊急情報を受信し、自動起動するラジオに更新（配付箇所:従来の町内自治会、自主防災組織、幼稚園に加えて、民間保育施設を追加）

### 消防力の充実・強化

○【拡充】消防団員の処遇改善（予算額 7,000万円）  
消防団員の処遇を改善するため、報酬単価を引き上げるとともに新たに出勤報酬を創設

報酬	年額報酬の引上げ（団長、分団長を除く） 引上額:1,000円/年～5,500円/年 出勤報酬（新設） 災害出勤:8,000円/日、警戒・訓練その他:3,500円/日
費用弁償	出勤に係る交通費実費相当額を支給





# 当初予算の主な施策

## 2. 安全・安心③

### 交通安全の推進

#### ○通学路安全対策(予算額 5,000万円)

学校・警察・道路管理者合同点検結果に応じた対策工事



### 防犯対策の推進

#### ○【新規】繁華街客引き対策(予算額 4,000万円)

「客引き行為等の防止に関する条例」の施行に合わせ、指導員による巡回及び指導などを実施(対象区域:中央区富士見地区、JR海浜幕張駅地区)

#### ○【拡充】防犯カメラ設置費助成(予算額 1,200万円)

町内自治会等に対する設置費助成について、台数、補助率及び上限額を拡大

補助台数	2021年度:30台→2022年度:40台
補助率	2021年度:1/2→2022年度:3/4
上限額	2021年度:20万円/台→2022年度:30万円/台



# 当初予算の主な施策

## 3. 環境・自然①～

### 地球温暖化対策

#### ○2050年脱炭素社会実現に向けた取組み

温室効果ガス排出量実質ゼロの達成に向け、市民や事業者の意識の醸成や行動を促すための取組を実施

#### 〈市民(交通・住まい)に向けた取組み〉

##### ・【新規】電気自動車(EV)セット購入費助成(予算額 800万円)

EVと太陽光発電設備・V2Hの同時購入に対し助成

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| 3点セット(EV・太陽光・V2H) | 補助額:15万円 |
| 2点セット(EV・太陽光)     | 補助額:10万円 |



##### ・【拡充】電気自動車(EV)等購入費助成(予算額 600万円)

EV及びプラグインハイブリッド車(PHV)の購入費助成件数を拡充  
(50件→100件、補助金額:5万円)

水素自動車(FCV)購入費用に係る助成を新設(補助件数:3件、補助金額:30万円)

#### 〈事業者に向けた取組み〉

##### ・【新規】ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)普及促進(予算額 100万円)

ZEBの普及促進を図るため、市内事業者向けの相談会を開催

ZEB化に向けたプランニング費用を助成(補助件数:1件、補助金額:50万円)

# 当初予算の主な施策

## 3. 環境・自然②

### ごみの削減と適正処理

○【新規】次期最終処分場整備(予算額 1,400万円)

次期最終処分場の整備に向け、候補地の選定を実施(2022~2023年度:候補地選定)

○【拡充】粗大ごみ自己搬入へのキャッシュレス決済導入(予算額 40万円)

環境事業所への粗大ごみ自己搬入時の手数料支払方法にキャッシュレス決済を導入

### 緑と水辺の活用と充実

○千葉公園の再整備(予算額 25億1,700万円)

千葉公園の魅力向上や周辺地域の活性化を図るため、「人が集まり まちを育てる 都心のオアシス」実現に向けた整備を推進(R4:広場整備、道路整備等)



### 緑の保全と創出

○【拡充】オオガハスの魅力発信(予算額 3,000万円)

オオガハスの開花70周年を迎え、記念フォーラムや  
関連イベントを開催

### 水辺環境の保全と活用

○【新規】花見川を活かしたまちづくり(予算額 400万円)

UR都市機構や民間企業などと連携し、花見川を活かしたまちづくりを進めるため、河川空間と花島公園、花見川団地周辺の魅力創出のための社会実験を実施  
(カヤック発着場整備 ほか)



# 当初予算の主な施策

## 4. 健康・福祉①

### 地域包括ケアシステムの構築・強化

#### ○【新規】高齢者等階段昇降支援(予算額 500万円)

階段昇降が困難な高齢者等の外出支援や、在宅復帰、家族などの介護負担軽減を図るため、階段昇降機を活用した支援を行う訪問介護事業者等に、階段昇降機の導入等に要する経費を助成

#### ○特別養護老人ホーム整備費助成(予算額 10億1,100万円)

特別養護老人ホーム等の整備を促進するため、施設の整備費用を助成  
(特別養護老人ホーム 200床 併設ショートステイ 50床)

#### ○【新規】介護施設等の新規整備を条件に行う既存施設の大規模修繕等

(予算額 4億2,200万円)

介護施設等の新規整備を行った法人が設置する市内介護施設等の大規模修繕等費用を助成

#### ○【新規】若年性認知症支援(予算額 400万円)

若年性認知症の方及び家族向けの相談支援等を実施

#### ○【拡充】あんしんケアセンターの充実(予算額 10億4,200万円)

高齢者人口の増加に対応するため、あんしんケアセンターの体制を拡充

センター・出張所 2021年度:30か所→2022年度:32か所

包括3職種(主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士)2021年度:146人→2022年度:149人



# 当初予算の主な施策

## 4. 健康・福祉②

### 障害者支援

#### ○発達障害者支援体制の強化(予算額 3,000万円)

##### ・【拡充】療育センター運営

療育相談所における初診までの待機期間を短縮するため、心理判定員を増員  
(2021年度:4人→2022年度:6人)

##### ・【拡充】発達障害者支援センター運営

発達障害の可能性のある児童の早期発見・早期療育につなげるため、巡回相談員を増員(2021年度:2人→2022年度:4人)

#### ○【拡充】重度障害者グループホーム等の整備(予算額 1億6,700万円)

重度障害者を受け入れるグループホーム等への助成対象経費について、施設整備費に加えて設備整備費、初期運営費を追加

#### ○【新規】重度強度行動障害支援(予算額 500万円)

重度強度行動障害者を受け入れる障害者施設へ、支援員加配に要する経費を助成

#### ○【拡充】障害者基幹相談支援センター運営(予算額 2億2,300万円)

障害者支援体制の基盤強化のため、障害者基幹相談支援センターと地域生活支援拠点を統合するとともに、相談員を増員(2021年度:24人→2022年度:30人)

# 当初予算の主な施策

## 4. 健康・福祉③

### 医療・健康支援

#### ○HPVワクチン接種(予算額 9億6,700万円)

子宮頸がんを予防するため、HPVワクチン接種勧奨を再開



#### ○【拡充】産後ケア(予算額 6,500万円)

産後の母子のケアを充実するため、宿泊型・訪問型に加え、日帰り型のケアを導入

#### ○【拡充】禁煙の支援(予算額 1,100万円)

喫煙及び受動喫煙による健康被害を防止するため、禁煙外来治療費助成の対象者及び補助率を拡大

対象者 2021年度:15歳以下の子ども又は妊婦と同居する市民→2022年度:市内在住者  
補助率 2021年度:1/2(上限1万円)→2022年度:10/10(上限1万円)

#### ○新病院整備(予算額 47億7,500万円)

海浜病院に代わる新病院の整備に向けて実施設計及び用地取得などを実施



### セーフティネット

#### ○【拡充】生活困窮者自立相談支援(予算額 1億9,500万円)

生活困窮者の自立、就労等を支援する「生活自立・仕事相談センター」を増設(2022年度:美浜区に開設し全区で実施)



# 当初予算の主な施策

## 5. 子ども・教育①

### 学びを支える教育環境の充実

- 【拡充】小学校における専科指導のための講師の配置(予算額 2億7,000万円)  
専門性の高い指導を行う小学校の非常勤講師を増員(2021年度:84人→2022年度:98人)
- 学校施設(トイレの洋式化・床のドライ化など)の環境整備  
(予算額 67億4,700万円)【一部2月補正】  
学校施設の計画保全及び機能改善を実施(大規模改造、屋上防水改修、トイレ改修等)
- 公立夜間中学設置(予算額 6,800万円)  
義務教育を修了しないまま学齢期を経過した者や、様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した者に対応する夜間中学を設置  
(2022年度:施設整備、設置場所:教育複合施設「まさご夢スクール」4階、開校時期:2023年4月(予定))
- 若葉住宅地区小学校新設(予算額 1億1,300万円)  
住宅開発が進む幕張新都心若葉住宅地区において、新たに小学校を建設  
(2022~2023年度:基本設計・実施設計、開校時期:2026年4月(予定))
- 市立稲毛国際中等教育学校の整備(予算額 1億1,700万円)  
2022年4月に開校(現市立稲毛高等学校・附属中学校)の校舎等の大規模改造を実施  
(2022年度:実施設計、土質調査、供用開始:2025年1月(予定))



# 当初予算の主な施策

## 5. 子ども・教育②

### 学びを支える教育環境の充実

#### ○給食室空調整備(予算額 9,200万円)(債務負担行為 2億700万円)

給食従事職員の熱中症対策として、給食室に冷暖房設備を整備

- 設置箇所 小学校8校、特別支援学校2校
- 設計 小学校10校



### 学校生活支援の充実

#### ○いじめ・不登校等への取組み

##### ・【拡充】不登校対策(予算額 9,800万円)

不登校児童生徒の増加に対応するため、教育支援センター「ライトポート」に小学生専用の教室を開設するなど支援体制を強化

- 小学生専用教室の開設:3か所(1か所あたり指導員2人配置)
- 家庭訪問カウンセラー新規配置:2人



##### ・【拡充】スクールカウンセラー活用(予算額 9,000万円)

いじめや不登校などに対応するスクールカウンセラーの配置体制を充実

- 小学校大規模校(42校) 2021年度:148時間/校→2022年度:160時間/校
- 小学校通常校(66校) 2021年度:111時間/校→2022年度:120時間/校
- 総括スーパーバイザー(1人) 2021年度:340時間 →2022年度:380時間
- ライトポート新規配置 280時間(1箇所)

# 当初予算の主な施策

## 5. 子ども・教育③

### 保育・放課後児童対策の充実

#### ○【拡充】子どもルームの整備(予算額 2億8,300万円)

待機児童解消に向けた整備

(2023年度開所 施設整備:3か所 受入枠:290人分)

#### ○【拡充】子どもルーム土曜日開所時間延長(予算額 4,700万円)

保育需要に対応するため、土曜日の開所時間を延長

(利用時間 2021年度:8:00~16:30→2022年度:8:00~18:00(延長利用 19:00まで))

#### ○【拡充】アフタースクール運営(予算額 7億8,000万円、債務負担 23億2,600万円)

放課後子ども教室と子どもルームを一体的に運営(2021年度:18校→2022年度:34校)

土曜日の開所時間を延長(利用時間 2021年度:8:00~16:30→2022年度:8:00~19:00)

#### ○【拡充】放課後児童健全育成事業補助(予算額 1億3,200万円)

民間事業者による子どもルームの運営経費に対し助成

利用促進のため、リーフレットを作成し、公設子どもルームの入所案内とともに配付

#### ○【拡充】民間保育園等整備(予算額 6億8,900万円)

待機児童ゼロを継続するため、民間保育園の整備や幼稚園の認定こども園への移行支援等を実施(整備:27か所、総定員数(予定) 2022年4月:19,177人 → 2023年4月:19,926人)





# 当初予算の主な施策

## 5. 子ども・教育④

### 児童虐待防止

- 【新規】児童相談所2所化・新児童相談所基本計画策定(予算額 1,000万円)  
増加、複雑・困難化する児童虐待に適切に対応するため、現施設内で2所化体制を開始するとともに、新たな児童相談所開設に向け基本計画を策定
- 【新規】子ども家庭総合支援拠点運営・整備(予算額 200万円)  
子どもとその家庭、妊産婦等に対する支援を充実するため、子ども家庭総合支援拠点を整備(2022年度:中央区に設置)
- 里親制度の推進
  - ・【拡充】里親養育包括支援(予算額 2,700万円)  
里親の心理的負担を軽減するため、新たに心理訪問支援員による相談支援を実施
  - ・【新規】里親サポーター制度(予算額 400万円)  
委託中の里親に対し、育児・家事・学習支援等を行うヘルパー等を派遣
  - ・【新規】里親委託前養育等支援(予算額 300万円)  
里親委託前のマッチング期間における里親候補者の経済的負担を軽減するため、当該期間の生活費等を助成

# 当初予算の主な施策

## 5. 子ども・教育⑤

### 児童虐待防止

#### ○【新規】生命の安全教育推進(予算額 300万円)

子どもを性暴力から守るため、発達段階に応じた性の人権教育をモデル的に実施

### 困難な状況にある子ども・家庭への支援

#### ○【拡充】子どもの貧困対策総合コーディネート(予算額 3,200万円)

貧困家庭等の子どもやその家庭に対し、生活自立・仕事相談センターと連携し、包括的な支援を行う「子どもナビゲーター」の配置を拡充

(2021年度:中央区、花見川区、稲毛区、若葉区→2022年度:緑区を追加)

#### ○【新規】ヤングケアラー支援体制強化(予算額 20万円)

ヤングケアラー支援体制を強化するため、小・中学校、幼稚園・保育園、児童家庭支援センター職員等がヤングケアラーについて学ぶための研修を実施

#### ○【拡充】学校外教育バウチャー(予算額 3,400万円)

経済的な理由で学校外教育を受けられない児童(小学校5・6年生)に対する習い事等に利用可能なクーポンの支給について、ひとり親世帯に加え、ふたり親世帯の生活保護受給世帯を対象に追加

# 当初予算の主な施策

## 6. 地域社会、文化・スポーツ①

### 多文化共生社会の実現

- 【新規】コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度の導入（予算額 200万円）  
外国人市民の円滑な意思疎通や情報伝達を支援するため、新たな通訳・翻訳ボランティア体制を構築

### 生涯学習の推進

- 【新規】花見川図書館とこてはし台公民館の複合化（予算額 5億2,300万円）  
効率的な施設運営及び市民の利便性向上を図るため、花見川図書館とこてはし台公民館を複合化（2022年度：花見川図書館改修等、供用開始時期：2023年4月（予定））

### 文化・芸術活動の創出と支援

- 【新規】市民会館の再整備（予算額 1億2,700万円）  
老朽化した市民会館の再整備に向けて基本設計等を実施（2027年度中供用開始予定）
- 【新規】音楽団体等支援（予算額 3,000万円）  
音楽団体等の活動を支援するため、演奏会等を実施する際の会場利用料等を助成  
要件 過去3年間に市内で不特定多数の者を対象とした音楽鑑賞事業を行った団体であること等  
補助率 1/2 上限額 30万円/公演（1団体あたり最大5回/年）



# 当初予算の主な施策

## 6. 地域社会、文化・スポーツ②

### 文化財の保全・活用

#### ○【拡充】特別史跡加曾利貝塚史跡等の整備(予算額 2億4,200万円)

縄文文化とSDGsを学ぶことができる博物館を目指し、新博物館の整備を推進するとともに、来場者の利便性向上のため史跡整備を実施

(2022年度:便益施設新築(多機能トイレ等)工事、新博物館整備運営事業者選定アドバイザー業務等)



### スポーツ活動の促進・支援

#### ○(仮称)千葉公園体育館の整備(予算額 27億6,400万円)

現千葉公園体育館、武道館、中央コミュニティセンターのスポーツ施設を集約し、競輪場跡地に新体育館を整備(2022年度:本体工事、外構工事、2022年度中供用開始予定)

#### ○パラスポーツの推進(予算額 8,100万円)

パラスポーツや障害者への理解を深めるとともに、障害者のスポーツ活動の参加を支援

- ちばしパラスポーツコンシェルジュの運営
- パラスポーツフェスタちば・オープンボッチャ大会の開催
- 男子U23車いすバスケットボール世界選手権大会の支援



# 当初予算の主な施策

## 7. 都市・交通①

### 千葉駅周辺の活性化推進

#### ○千葉駅周辺市街地再開発

- ・千葉駅東口地区市街地再開発(予算額 8,000万円)(2022年11月竣工見込)
- ・【新規】千葉駅東口西銀座B地区優良建築物等整備(予算額 1億7,000万円)  
(2025年度中竣工見込)
- ・新千葉2・3地区市街地再開発(予算額 4億1,200万円)(2022年度中竣工見込)  
再開発ビル等を整備する組合に対する助成等を実施

#### ○千葉駅周辺における官民連携まちづくり

- ・【拡充】千葉駅周辺におけるウォークアブル推進(予算額 1,400万円)  
ひと中心の空間創出に向けた取組みを実施  
〔市道弁天31号線 合意形成支援、測量等  
市道新千葉22号線 周辺交差点への影響検討等〕
- ・【拡充】千葉駅周辺におけるリノベーションまちづくり(予算額 1,800万円)  
官民の遊休不動産等の既存資源を活用し、駅周辺の活性化や地域の課題解決に向けた取組みを実施  
〔リノベーションスクールを引き続き実施  
「(仮称)リノベーションまちづくり構想」を新たに策定〕

# 当初予算の主な施策

## 7. 都市・交通②

### 幕張新都心の整備

- 【新規】ZOZOマリンスタジアム今後のあり方検討基礎調査(予算額 3,000万円)  
老朽化の進むスタジアムの今後のあり方を検討するため、基礎調査を実施
- 幕張新都心拡大地区新駅(幕張豊砂駅)設置(予算額 10億3,100万円)  
幕張新都心の都市機能の強化と交通機能の分散化を図るため、新駅整備を促進  
(2022年度:工事等、開業時期:2023年春予定)

### 都市の魅力・活力づくり

- 【新規】政令指定都市移行30周年記念事業(予算額 400万円)  
2022年4月に政令指定都市移行30周年を迎えるにあたり、記念事業を実施

### 持続可能な公共交通ネットワークの形成

- 【新規】新たな地域公共交通導入に向けた社会実験  
(予算額 1,300万円)(債務負担行為 1,900万円)  
緑区高津戸町北部エリアにおいて、  
新たな地域交通の導入に向けた検討及び社会実験を実施
- 【新規】グリーンスローモビリティ導入(予算額 1,200万円)  
スポット的に公共交通へのアクセスが困難な地域においてグリーンスローモビリティ導入の  
実証調査を実施(実施地区:若葉区桜木地区 ほか)



# 当初予算の主な施策

## 7. 都市・交通③

### 広域道路ネットワークの形成

#### ○道路整備(予算額 14億2,600万円)

東寺山町山王町線(長沼・六方地区工業地域)

若松町金親町線(千城台地区・金親町地区)

千葉外房有料道路 高田ICのフルインター化 ほか



#### ○街路整備【一部2月補正対応】(予算額 44億3,200万円)

塩田町誉田町線(誉田町地区)、誉田駅前線、源町桜木線 ほか

#### ○(仮称)検見川・真砂スマートIC整備(予算額 6,600万円)

東関東自動車道に接続する東京方面への新たなインターチェンジを整備

また、スマートICの整備と合わせ、国が本市と連携し、千葉西警察入口交差点から稲毛浅間神社前交差点の区間における交差点立体などの渋滞対策を一体的に取り組むことを検討している。

# 当初予算の主な施策

## 7. 都市・交通④

### スマートシティの推進

#### ○スマートシティの推進

- ・【新規】スマートシティ実証補助(予算額 1,000万円)

スマートシティ推進ビジョンに基づき、民間企業等が行う地域課題の解決に向けた取組みなどを支援(補助率:1/2 上限額:500万円)

- ・【新規】デジタルデバйд対策(予算額 400万円)

高齢者等のデジタル活用の不安解消に向けた取組みを推進  
(民間企業と連携したスマートフォン講座開催、スマートフォン相談員養成)

#### ○【拡充】市役所コールセンター運用(予算額 1億300万円)

市ホームページに24時間365日利用可能なAIチャットボットを導入し、問い合わせに自動応答する機能を追加し、利用の少ない時間帯の受付時間を変更

受付時間 (平日)2021年度:8:30~21:00→2022年度:8:30~18:00

(休日)2021年度:土日祝日・年末年始の8:30~17:00→2022年度:土・祝日・年末年始の8:30~17:00

導入・変更時期 2022年12月~

### 暮らしを支える基盤を創る施策

#### ○【拡充】おくやみコーナー設置(予算額 3,200万円)

死亡に伴う各種手続きに関する遺族の負担を軽減するため、申請書代行作成等の支援を行うワンストップ窓口設置を拡充

(設置場所 2021年度:緑区役所 → 2022年度:全区役所 2022年5月30日開設)

# 当初予算の主な施策

## 8. 地域経済・農業振興①

### 持続可能な地域経済の確立に向けた経営力の強化

#### ○【拡充】新規市場開拓支援(予算額 300万円)

商品のオンライン展示会の増加に対応するため、新規市場開拓支援制度に係る対象経費を拡充(助成対象経費:出展料に加えて、映像コンテンツ制作経費を追加)

#### ○【拡充】海外事業展開支援(予算額 300万円)

市内企業の海外展開を促進するため、海外事業展開支援制度に係る対象経費を拡充  
(助成対象経費:認証取得関連経費に加えて、グローバル展開経費(マーケティング調査、越境ECの利用料等)を追加)

### 地域経済の新たな担い手の創出

#### ○企業立地促進(予算額 8億4,100万円)

・市内企業の立地及び市内企業の追加投資に係る経費等を助成(件数:107社)

#### ・【拡充】企業立地促進事業補助金(賃借型)

事業者ニーズを踏まえ、リモートワーク導入に係る経費及び社員採用に係る経費を助成メニューに追加



# 当初予算の主な施策

## 8. 地域経済・農業振興②

### 観光資源の価値向上

#### ○【新規】イベントツーリズム促進(予算額 5億6,000万円)

市内飲食店等での周遊促進を図るため、本市で開催されるプロスポーツや大規模音楽イベントの観客を対象として、開催地周辺の飲食店等で利用可能なクーポンを販売  
〔特典内容 イベント開催地周辺での飲食等に利用可能な3,000円分のクーポンを500円で販売〕  
〔実施期間 2022年6月～2023年2月(予定)〕

#### ○【新規】市内観光バス活用促進(予算額 4億5,900万円)

市内観光バスを活用したイベント等主催者や旅行業登録事業者の取り組みを支援

##### 1 イベント等活用型

〔要件 イベント参加、プロスポーツ観戦、企業の団体旅行・研修などで、市内観光バス事業者が所有する貸切バスを用いること等〕  
〔補助額 バス借り上げ料の1/2(上限 7.5万円/台・日)〕

##### 2 周遊プラン活用型

〔要件 市内観光バス事業者が所有する貸切バスを用いた、県内周遊プランを催すこと等〕  
〔補助額 周遊プラン催行費の1/2(上限 50万円/件)〕

# 当初予算の主な施策

## 8. 地域経済・農業振興③

### MICEの推進

○MICEの推進(予算額 1億4,900万円)

・【新規】X Games開催に伴う負担金

MICE推進の新たな方向性として、大規模イベントを支援

・ハイブリッド型MICE開催促進補助

感染拡大防止対策が徹底されている市内施設で、ハイブリッド型の会議・展示会等を開催する主催者を支援



# 当初予算の主な施策

## 8. 地域経済・農業振興④

### 農業の担い手確保・育成

#### ○農政センターリニューアル(予算額 2億円)【2021年度2月補正予算】

農政センターを機能強化し、「農業の成長産業化を支援する現場の拠点」としてリニューアルするため、施設整備を実施  
(イチゴ生産用ハウス整備 等)

#### ○【新規】農業継承者経営発展支援(予算額 200万円)

農業経営を継承した者が経営を発展させるために必要な経費の一部を助成

〔助成メニュー 専門家によるコンサルティング支援、研修の受講、資器材の導入等支援〕  
〔補助率 認定農業者の場合:10/10(上限額100万円)、その他:1/2(上限額50万円)〕

#### ○新規就農の推進(予算額 5,200万円)

新規就農者を確保・育成するため、農業に必要な技術や経営方法などの研修を行うとともに、円滑な就農と就農後の経営確立を図るため支援を実施  
(新規就農アドバンス研修、新規就農希望者研修、雇用就農希望者等研修 ほか)

#### ○【拡充】耕作放棄地整備(予算額 200万円)

農地を意欲ある担い手に集積するため、耕作放棄地の再生に係る助成額を引き上げ  
(補助上限額 2021年度 4.5万円/10アール→2022年度 10.5万円/10アール)

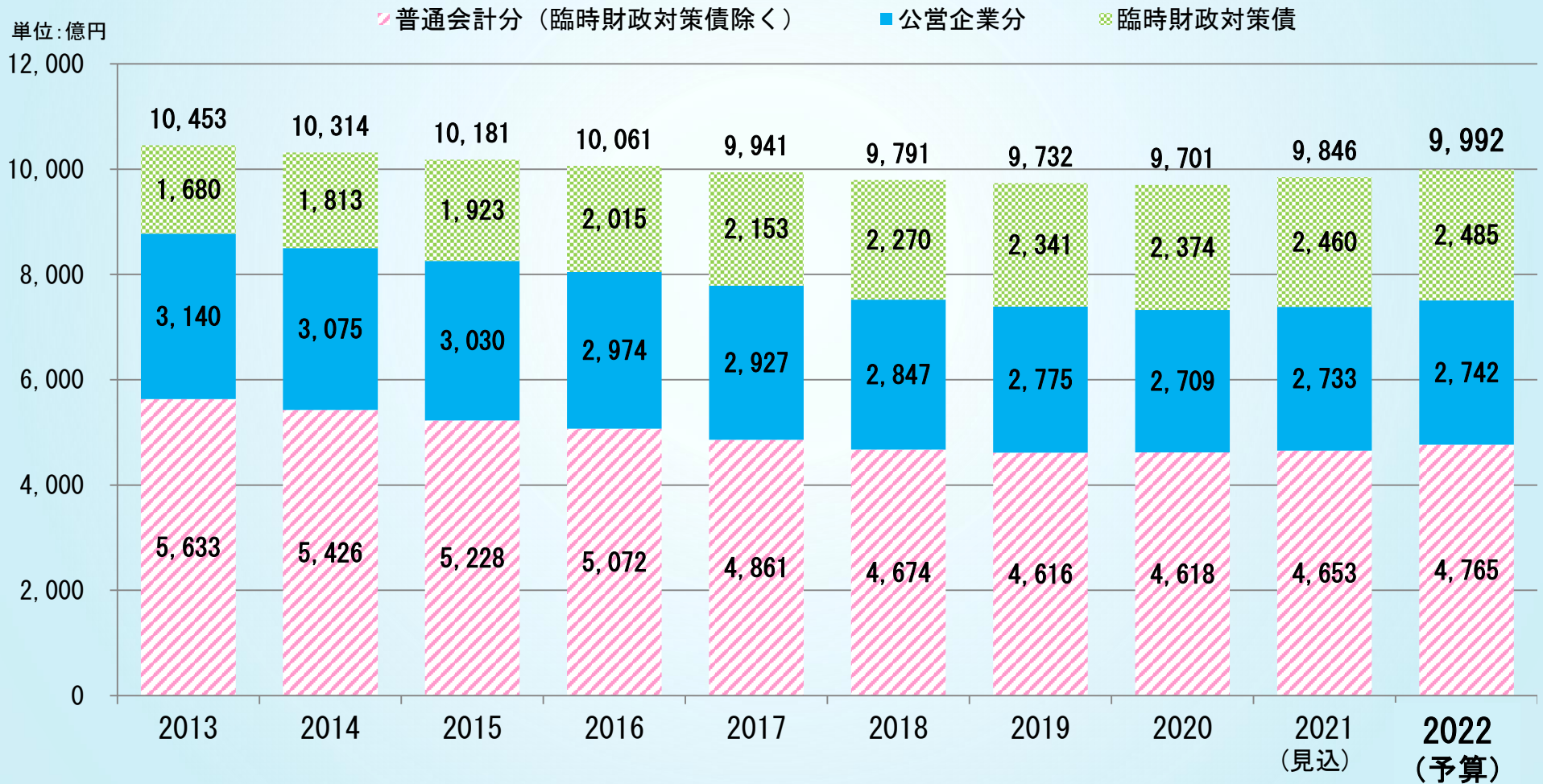


# 主な財政指標

## 全会計市債残高の見込み

○新庁舎整備や千葉公園の再整備などにより建設事業債発行額が増となることなどから、全会計市債残高は増加する見込み

【全会計市債残高の見込み】



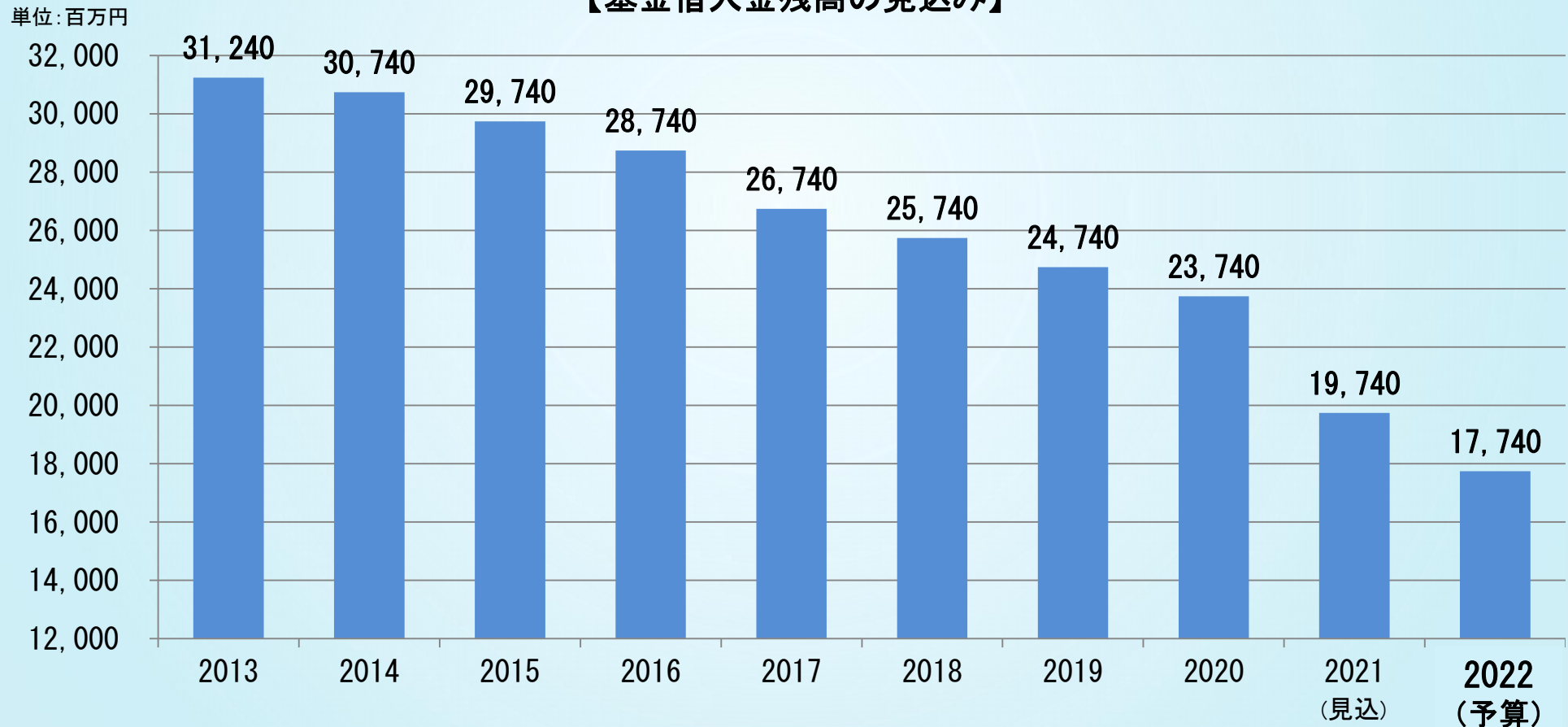
# 主な財政指標

## 基金借入金残高の見込み

○一般会計の収支不足を補てんするために実施している基金からの借入は、**2021年度及び2022年度で総額60億円を返済し、着実に削減**

〔 2021年度:市税収入が当初の見込みより増となることから、2月補正予算で返済額を追加(10億円→40億円)  
2022年度:2021年度当初予算に比べて10億円増の20億円を返済 〕

【基金借入金残高の見込み】



# 主な財政指標

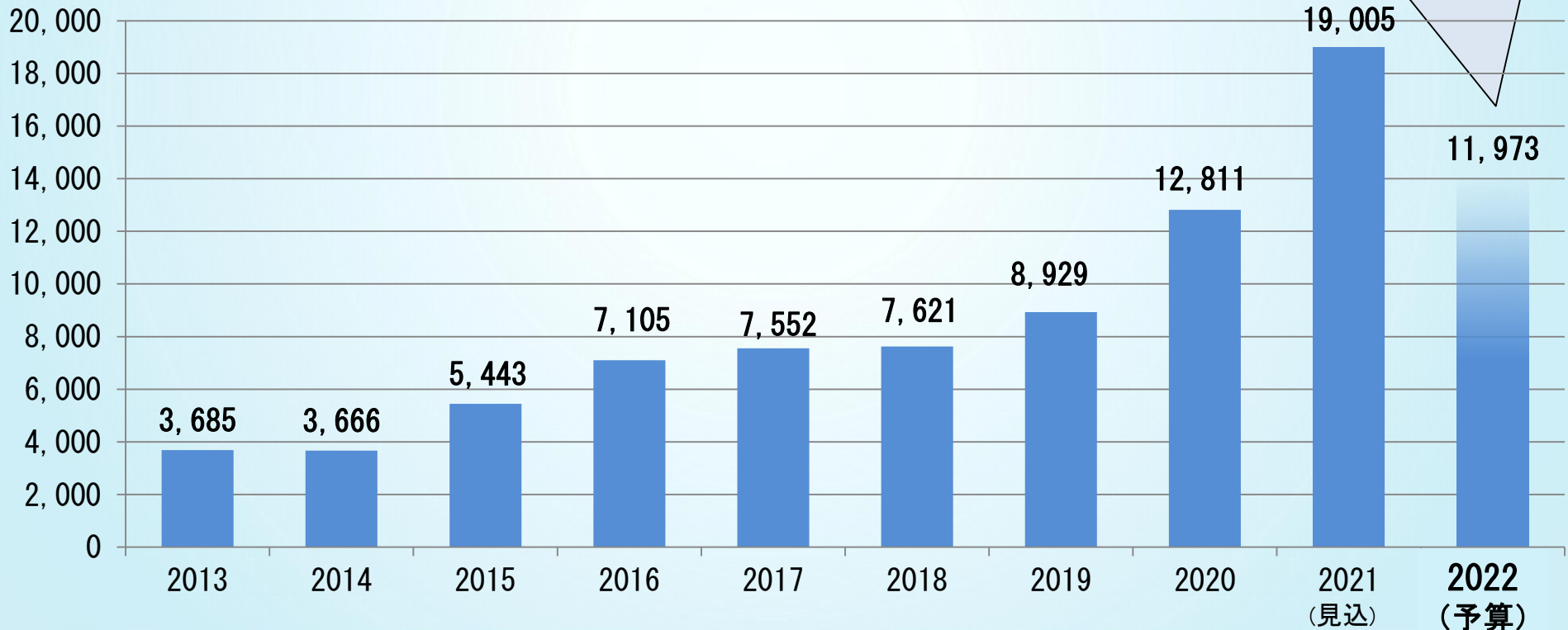
## 財政調整基金残高の見込み

○新庁舎整備などの財政需要増に対応するため、大幅な取り崩しを行うものの、一定の残高(120億円)を確保する見込み。

2021年度:市税収入が当初の見込みより増となることから、2月補正予算で取崩額を減額(32億円→0.2億円)するとともに、積立額を追加(0円→62億円)  
2022年度:新庁舎整備などの財政需要増に対応するため、70億円を取崩し

【財政調整基金残高の見込み】

単位:百万円





# お知らせ



## 政令指定都市移行30周年記念 スペシャル対談

千葉市の政令指定都市移行30周年を記念して、千葉市育ちのタレント小島よしおさんと神谷市長のスペシャル対談を実施しました。

政令市移行による市民サービスの変化、未来のまちづくりについて2人が熱く語り合います。

是非ご覧ください！ ⇒

